

通信

ともに

第38号



2016年7月14日発行

発行者/認定NPO法人ともに  
住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目  
でんわ (0136) 55-5828  
FAX (0136) 55-5829  
Eメール info@npo-tomoni.com  
公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com  
公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

## WRAP\*3講師に当法人職員を派遣



社会福祉法人 塩谷福祉会運営の「地域活動支援センターやすらぎ稲穂」(小樽市稲穂)が6月から7月にかけて4回開講した、WRAPクラスに、当法人職員のカミヨが講師として参加しました。ワークショップようてい利用者のEさんも受講生として参加し、「WRAPに関わるようになって、周りの人が何かあったときにどう行動しているのかを聞けることができ、自分の行動の参考になる。ファシリテーターの資格を取ったのでもっと活動できるように勉強していきたい」とWRAPをする意義を熱く語っていました。

## 札幌の「障がい者就労カフェ」で今年も商品販売



昨年の販売の様子

昨年に続き、今年も赤レンガ庁舎(北海道庁旧庁舎)の前庭でNPO法人PCNETが北海道の委託を受け期間限定で「障がい者就労カフェ」を開業し、ワークショップようていの製品も販売していただくことになりました。じゃがいもの収穫はこれからなので製造部の商品ですが、札幌にお越しの際はぜひ赤レンガ庁舎カフェにも寄っててください。

開催日: 7月1日[金]~30日[土]、8月14日[日]~31日[水]  
いずれも毎日午前9時30分~午後4時30分

精神科医 土田正一郎の

診察室で  
考えて  
いること(仮)



その26  
うろたえる

先日うろたえた。滅多にしないことなのに、講演会に内容の予定を書いたノートを持って行ってみようと思ったのだ。慣れないことはしないに限る。やっぱり忘れて、直前に忘れたことに気がついて、うろたえた。いつもは行き当たりばったりで喋っているのに、何故かうろたえた。

そしてうろたえている自分に何よりうろたえた。息も絶え絶えになんとかしゃべり終えて、一息ついてしていると声を掛けられた。「いつものように面白かったですよ」と。飛びつきりにうろたえた。

ともに顧問(自称)

## 各事業報告~6月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい  
契約/移行3人、継続B20人 見学/1人 体験/1人
- ◆グループホームよろこび 利用者/20人(定員21人)  
見学/0人、体験/0人
- ◆法人会員 正会員20人、賛助会員 団体3 個人80人
- ◆寄付物品 牛乳パック、食器、グラス
- ◆今年度寄付金 のべ1団体5人 82,000円
- ◆講師の派遣 6/15,23 塩谷福祉会WRAP講師(かみよ)

### 編集後記

「スポーツ」の語源はラテン語で「気晴らし、遊び」です。文化としてスポーツが根付いた地域は発展する。私はそう思っています。今回当法人で発足し始動するフットサルクラブ「K.S.C.Juntos」が地域の文化となり、精神障がいの理解も進むことを期待します。(かわさき)

今月の一枚



7月6日撮影

じゃがいも(とうや)の花  
ワークショップようてい農業部

K.S.C.Juntos

## ともにのフットサル\*1クラブ「K.S.C.Juntos(ジュントス)」発足!

5月21日に開催された「みんなで学ぼう春の拡大版」。そこで「ともにでもフットサルチームをつくろう!」と盛り上がった、精神障がい者フットサルクラブが、ついに発足しました。会長は土田正一郎さんです。名前の「K.S.C.」は「倶知安スポーツクラブ(Kutchan Sports Club)」の頭文字、「Juntos」はポルトガル語で「ともに」を意味しています。ともにスポーツを楽しみ、ともに生きていくことを目指していきます。

7月1日に発会式と最初のチーム練習を、倶知安町の旧東稜中学校体育館でおこないました。式では「最終目標はヨーロッパ遠征!いや世界制覇!」と夢は大きくそして楽しく、けがのないプレイをしていくことを確かめ合いました。練習では一対一のパスやキックなどをして、ボールの感触を確かめ合いました。練習は原則毎週金曜日におこなう予定です。



- 活動目的
- ①病気がない関係なくフットサルを楽しみたいと思う方々の生きがい(QOL)となる活動を行う
  - ②フットサルを通じてコミュニケーション能力の向上
  - ③選手達の心身の健康増進
  - ④倶知安町のシンボルとなるよう町興しを狙う
  - ⑤チーム最終目標はヨーロッパ遠征

講演会・研修会活動 **頭を動かし認知機能のリハビリ～たね塾特別版**

6月18日土曜日、大日本住友製薬株式会社主催、NPO法人とともに後援で、「たね塾特別版 羊蹄山麓認知リハ勉強会」を開催しました。

「統合失調症の認知機能障害とそのリハビリテーション」をテーマに、大阪府立精神医療センター医務局長の岩田和彦先生により講演をおこないました。

支援者向けの講演会でしたが、会場の第一会館には羊蹄山ろくはもとより小樽市から参加された方もいて総勢44人と盛況でした。

講演では大阪府立精神医療センターのデイケアなどでしている「脳力アップトレーニング」を実際に体験しながら、認知機能リハビリをわかりやすく話していただきました。

岩田先生が考案した「脳力アップトレーニング」はゲーム感覚で楽しみながらでき、あちこちから笑いが起こりました。たとえば読み上げる数字を聞きながらヒザや手をたたき「聴いて叩いて」や、言葉遊びの「アナグラム\*1」など、頭を使うゲームにみんなで挑戦しました。先生は「間違ってもそこであきらめず、ついてきてくださいね」と続けることの大切さを教えていただきました。

受講された方からは「認知機能リハビリテーションの大切さを知り、その効果なども聞いたことで、今後の支援に役立てたいと思います」「『失敗してもいい』という思いでやって頂くことが大切だと改めて思いました」「生活していくためには、認知機能が大切だということが分かった」などのアンケート回答が寄せられました。

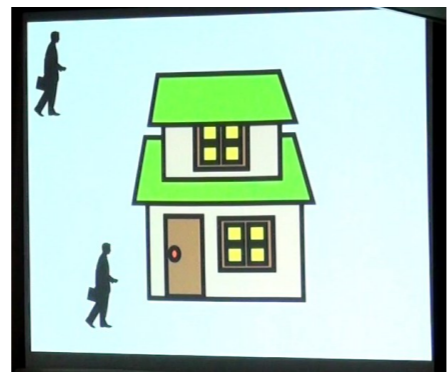
懇親会では調理部の手づくり料理が並び、おいしさに舌つづみ。先生も「こういったもてなしは初めてです」と大満足でした。



講師の岩田先生



脳力アップトレーニング  
「指で数を数える」



脳力アップトレーニング  
「家にいるのは何人？」



懇親会の手づくり料理

**手づくりのイベントを目指して～わっくわくまつり実行委員会**

ともに新しいイベントをつくろう！ ということで、9月22日[木・祝日]に「わっくわくまつり」をおこなうべく今から企画会議をしています。

第1回の会議は6月8日に開催。初回ということでそれぞれが自由な雰囲気意見を出しました。「こうすれば盛り上がる」、「こんなこともやろうか」とアイデアがたくさん出ていました。「手づくりのまつり」を目指し、今から企画を練っています。

まつりの要項がきまりしだい、通信ともに随時お伝えします。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい **活動いろいろ振り返り(6月～7月)**

**6月25日 後志精神保健協会総会&講演会**



毎年共和町の「地域活動支援センター前田の家」と一緒に出店させていただいていますが、今年も製造部の商品を利用者と一緒に販売しました。講演会は人生のヒントになるような興味深いお話でした。

**6月27日 俱知安たんぼぼの会総会**



利用者5人が出席しました。懇親会の自己紹介ではみなさん緊張していましたが、前もって準備したのでそれぞれしっかりと話していました。

**7月2日 新緑フェスティバル\*2**



利用者2人と製造部の商品販売に行きました。雨のため残念ながら室内になり、新緑を感じることはできませんでしたが、子どもたちのよさこいなど、手づくり感いっぱいのイベントでした。

**農業部の作物、できています。**



収穫間近のラディッシュ

長雨の影響で成長が遅れている作物がありますが、6月半ばより収穫が始まっています。

今のところラディッシュ、小松菜、ズッキーニなどを収穫しています。コープさっぽろ俱知安店の「ご近所やさい」などで発売中です。

これからはトマトやキュウリなども収穫していきます。おいしい夏野菜の季節です！！



「ご近所やさい」のコーナー

グループホーム よろこび 障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい **おいしく楽しく～合同焼肉交流会**



雨のため室内で焼肉



熱唱中

7月2日土曜日、グループホームとワークショップようていの合同で焼肉交流会をおこないました。雨のため残念ながらわっくわく食堂でのジギスカンとなりましたが、食後は参加者の発案で急きょカラオケ会になり時間まで盛り上がりました。

カラオケをいっぱい歌ったSさんは「楽しかった！」とみんなの前で得意の歌を披露できて満足そうでした。